

避難訓練 (R6.11.29)

○前回は、5月に火災の避難訓練をしました。今日は、2回めで、地震が起きたという想定でした。しかも、今回は、事前の告知なく訓練をしました。やってみて、皆さんどうでしたか。

○5月に避難訓練のキーワード「おはしもち」について、なぜ、その言葉ができたか、説明しました。覚えていますか。「阪神淡路大震災」がきっかけだと言われています。それ以降も、地震は、本当に日本の多くの場所で起きています。「石川能登半島地震」も、まさか元旦から地震が起きるとは、思いもしなかったことでした。日本は、いつ、どこで、大きな地震が起きても不思議ではないぐらい、多くの地震が発生しています。

○私は、今でも「阪神淡路大震災」のことを思い出すと、心がぎゅ〜っと締め付けられる感じがして、とてもしんどいです。1月17日。本当に寒い日。朝5時46分。地震を経験した友人の話を紹介します。

○「無我夢中で、建物の中から人を救った。何人を救ったかは覚えていない。でも、少しほっとしたとき、はいていたスリッパをぬごうとしたら、脱げなかった。なぜなら、足の裏が血だらけになっていたから。それに気づかないぐらい必死だった。でも、スリッパをはいていなかったら、どうなっていたか、おそろしくて考えられない。」

○今日は、皆さんの「命を守るための策」として、改めて1つキーワードをお伝えします。それは「くつ」。大きな地震が起きたとき、地面にいっぱい落ちているものは「ガラス」。私たちが暮らしている建物には、多くの「ガラス」があります。これが、地面いっぱいには散らばっている、そんな中を避難しないとイケいとなると、、、もうわかりますね。くつがある方がいいです。

○日本の文化では、おうちでくつを脱いでいることが多いかもしれません。でも寝る前、布団の横、ベッドの横には、「くつ」もしくは「スリッパ」を置いておきませんか。皆さん、一人ひとりが自分の命を守る行動を適切にとれるよう、願っています。